

1/7

次々と繰り出す妙技 で観衆を魅了

東西 奔走

平成22年登別市消防出初式



1月7日(木)、市民会館で、『平成22年登別市消防出初式』(市主催)が行われ、消防職員や消防団員、陸上自衛隊幌別駐屯地消防ポンプ班などの消防関係者約140人と車両7台が参加しました。

この日は、駐車場で分列行進による入場を市長の観閲のもと行い、その後、大ホールで、木遣り唄や纏振り、梯子登りなどの伝統芸が出初式で初めて披露されました。

梯子登りでは、高さ6〜7層の梯子の上で、西胆振鳶土木工事業連合組合と西胆振若鳶会と同会登別支部の方32人により、次々と繰り出される型の妙技に、見学に来ていた近くの保育所の園児などを含む約350人の観衆からは驚きの声とたくさん拍手が沸き起こりました。

夫婦円満、家内安全を 願いし郷土芸能を披露

1/1

平成22年元旦縁起もちつき

1月1日(金)、泉源公園(登別温泉町)で元旦縁起もちつき(社登別観光協会主催)が行われ、『子宝もちつき舞い』が披露されました。

子宝もちつき舞いは、子宝・安産、夫婦円満、家内安全を祈願し昭和57年に誕生した郷土芸能で、平成18年から休止されていましたが、平成21年より温泉地区の若者たちにより復活したものです。

当日は、強風が時折吹く吹雪の天候の中、4人のつき手と1人のあいどりが笛や太鼓の音色のはやしに合わせてもちをつき、空にきねを放り投げて、交換しながら舞う姿に、集まった約300人の観客からは歓声や拍手が起きていました。

ついたお餅は、紅白にして『おしるこ』として振る舞われ、見物客は、冷えた体を温めていました。



観光地の連携により 競争力の強化を図る

12/21
2009

北海道登別洞爺広域観光圏協議会設立



昨年12月21日(月)、市役所で白老町以西の胆振7市町と観光協会、農協、漁協などの事業者が集まり、『北海道登別洞爺広域観光圏協議会』が開催されました。

この協議会は、観光地が互いに連携して広域観光圏を形成し、地域の魅力を増やすことで国際競争力を高め、国内外からの観光客の来訪や滞在を促進することを目的とした『観光圏整備計画』の作成や『観光圏整備事業』の実施に係る連絡調整を行うため観光整備法に基づき設置する協議会です。

この日は、会長の選出や規約と整備計画案の検討などが行われ、今後『広域観光圏』の認定に向けて、実施計画の作成や観光関連事業者などと調整を行い、平成21年度中の認定と22年度から具体的な事業の実施を目指します。